

## 恵那南地区中学校再編についての地域説明会議事録

開催日時 令和5年3月13日(月) 午後7時～  
開催場所 山岡農村環境改善センター 多目的ホール  
出席者 山岡地域の方 51名  
その他の地域の方 11名  
説明のため出席した事務局職員等 9名

開 会 (午後7時)

教育長 挨拶  
室長 恵那南地区中学校開校に向けての説明

参加者 質問とかではないですが、保護者としての意見なんですけど、僕の子供は、6年生で小学校卒業したんですけど、6年生の下の子が、普通に中学生になる時は、本来は新しい中学になってたと思うんです。僕は、賛成でずっといました。理由としまして、今の学校だと、この先部活動がどうなってるかとか、そんなことはわからないんですけど、うちの子はスポーツが苦手な、でも、選択肢が少ないじゃないですか。いろんな所の地域の方の話聞いても、もっと少ないとこでは一択しかない。もう、これしかできないっていう状況だっているのを聞きます。逆に西中とか東中の方の大きい学校に行けば、文化系とか、そういうクラブとかもあるっていうのも聞きます。僕としては、やっぱり大人はなんていうんですかね。これをして、あれをしたくないっていう選択ができるのに、子供たちに選択させるという事を無くしてしまうっていうのは、すごく良くないなと思っています。子供たちが自分たちで、自分の力でこっちに行こうかな。あっちに行こうかなっていう選択できる環境を作ってあげないと、これから大きくなった時に、きっと苦しむんじゃないかなと思います。それと、やっぱりクラスが1つしかないっていうところで、小学校の時は、まだいいんですけど、中学生になって、思春期になってきた時に、フレンドリーだけだったらいんですけど、一回輪から外れると、やっぱりその子は学校に来れなくなってしまっているのが現状だと思うんです。そういう事を先生方が把握して、クラスを替えていってあげる。それで、もう1回学校行きたいって思えるような場所を作ってあげるのが教育じゃないかなと思うので、僕は早くやっぱりやってほしいなと思ってました。今回、僕の子供は新しい学校には行けないんで、今の中学で頑張るしかないなと思うんですけど、準備委員会を早急に学校なり、地域の方にお話をして誰を選出するのか、そういうのは早く

教えてあげないと、いつまでたっても、進んでいかないと思うので、早く僕はやってほしいなと思っています。以上です。

教育長 ありがとうございます。他の地域でも言われるんですけども、本来でしたら平成33年のところで、できるはずっていうことでしたが、克服すべき課題もいくつかあったりする中で、遅れてしまったことについては、本当に申し訳ないと思っております。今できることを精一杯やりたいな、ということを考えております。それから、準備委員会につきましてはそれぞれの地域で、PTAの組織も違いますし、保護者の方の人数も違うので、なかなか難しいなと思っております。けれども、今、地域への説明も入っておりますので、これも終わった時点でできる限り早く、準備委員会のメンバー等も含めて、決めてお知らせをして、その時には各地域のPTAの方に、ぜひ協力をしていただきたいなっていう事を思っておりますので、よろしく願いいたします。

参加者 はい、質問の機会を与えていただきまして、ありがとうございます。今日はあえて実は明智から来たんですが、イトウと申します。山岡の皆さんにお聞きしたいというか、聞いてもらいたいってことがありまして。あえて発言させていただきますが、私は統合そのものに反対するということじゃなくて、一校統合は尚早じゃないかということで、意見を言わせてもらいます。こういう風に言いますと、実は、ある特定の団体から言われてるんじゃないかと。そういう風に恫喝を受けた仲間もいたりしまして、ちょっと不本意なんですけど、そういうことが絶対無いようにしていただきたい。まず、そこからお願いをしたいと思います。実は明智に住んでいますが、串原といっても、上矢作もなかなか行く機会はありません。だから、この機会にあえて、自分で足を運んでみました。そうすると、やっぱ山岡中学から昨日行ったのは大野地区というところですが、僕の車で48分かかったんですね。これは岩村回りで57号線を経由して行ってみました。その方が道がいいという風に聞いてましたので。帰りは松本へ抜けて、大平を抜けて降りてきたんです。それでも、25.8キロ、約26キロあったんですよ。で、これはこの距離は例えばですけど、中津川へ行くと坂本中学を超えて、第1中学の近くまで行く距離になると思います。西の方へ行くと、肥田中とか、その辺に行く距離を毎日通わなくちゃいけないわね。だから、そういうことを実際に山岡の皆さんたちも、自分の子供、孫がそういう距離を通っているっていうことを考えた時に、ちょっと大変じゃないかな、という思いやりを持って考えていただきたいなと思ったんです。だから、山岡に来るから、それでいいんじゃないかと。それだけの考えでいてもらっても困ると、あの常々思っております。質問は1つだけとの事ですので、これで終わりますけど、よろしく願いいたします。

教育長 はい、ありがとうございます。まず1校が、早すぎるんじゃないかというお話

です。今まで、今の2校、3校についても、検討されたと思うんですけども、まず2校です。どういう風にくつつかは、色々あると思うんですけども、2校で統合した場合に、令和の12年度にはもう、1学年1学級になってしまうんですね。で、それでまたそこからじゃあ2校に、2学級にしましょう、って統合するのならば、もう今の段階で、令和の8年度には3クラス4クラスっていうのが可能であるわけですので、是非、より多くの中で、より良い環境で、学習できることが良いのではないかということで、1校で令和8年度っていうことを考えました。それから、確かに乗る時間等は増える人もいると思うんですけども、バスであるということも含めてですけども、そのバスの中の過ごし方も含めて、色々考えながら、是非先ほど言いました複数学級で学習ができるという環境で学ばせたいなということを思って、進めておるところでございます。

参加者

こんばんは。ご苦勞様でございます。私、77歳の老人でございます。そんなことですね、自分の経験の中からですね、ちょっとお話ししたいと思います。というのは7、8年前だったと思いますけども、農業委員に席を設けておりました、そこにおりまして、恵南ですね、ずっと回った記憶があります。そんなことですね、まず岩邑中学の前ですね。あそこで、農地を転換して、うちを作りたいって方が、そういった1つの仕事がありました。その中で仕事してですね。7、8年ぐらい経ちますけども、その場所が今ですね、富田になりますか。ちょっと部落がわからないですけども、岩邑中学の前ですね、あそこら辺から結構家ができてですね、非常に大きな住処とか住宅街になりました。そんなことで岩村の方がですね、あそこに家を新築で作られた方が多くてですね。岩邑中学の周りにうちを作って、2、3年したら岩村のいや、山岡の方の中学へ行こう、なんてもってのほかだと、そのことを考えておりました。で、もう1つはですね、串原の、農業委員で回ったことがあります。串原の方の意見をちょっと聞いたのを今記憶で出してみますと、せっかくこういった田舎へですね、移住してきて、教育の関係で串原へ転勤し、移動してきました。ということで、もし、中学がなければ、うちらが移動してきた価値がない、そんな意見もありました。で、また山岡に中学ができれば、もう1時間以上かかってしまう。じゃあ、まあ串原におる方旭村豊田市のほうですから20分か30分で動くことができますと思いますから、まあ、向こうへ通えればいいわな。そんな話も聞きました。まあ率直にいうとですね。非常に山岡が1つの中学っていうの、非常に厳しいかと思えます。ていうのは、串原や上矢作の方にはですね、非常に厳しい中学の再編かと思えます。私が思うのはですね。やはり、あの1校じゃなくてですね。串原の方は明智、上矢作の方は岩村に来ればですね、全然金もかからない10億も30億もかけなくてもですね。少しはそ



せていただきます。

参加者

すいません。私、去年まで山岡地域自治区の会長をしておった水野です。ご苦勞さんでございます。私、歌舞伎保存会の会長も兼ねてやっておりますが、実は今保存会、すごくスタッフも、それから役者も人材不足で、もう立ち行かないような状況なんです。そこで、実は中学校統合ということもあって、各地域の上矢作、串原、山岡、明智、岩村も含めてですけども、会長さんと相談しながら、もう中学生の力を借りてやってるような状況ですので、人事交流をやらまいか、スタッフもみんなまとまって、保存会をなくすってことできないので、各地域の保存会としては残しますけど、人事交流、スタッフ役者全部、人事交流で保存していきましょう。というような、話し合いを今しております。それで、先ほどの子供のことでですけども、やっぱり多いほど子供って成長できるんじゃないかなと思いますので、大人とこうやって、例えば、そういういろんなところで出会いを増やしていけば、多分将来ああ良かったなと思えるようなことになるんじゃないかと僕は思うんです。確かに、デメリットもあります。デメリットもありますけども、メリットが大きいんじゃないか。だから、それは大人が工夫したりしてあげられることなんで。やっぱり私、伝統芸能とか地域の繋がりとか色々考えていくと、大勢の方がもう枠を広げて関わっていかないと、できないんですよ。本当にもう切実に今考えております。中学校の先生も校長先生もみえますけども、今保存会が成立しとるのは、中学生の力です。実質、中学生がいないと保存会、成立しません。ということで、中山太鼓の三宅会長さんもしかり、それから、他の保存会の会長さんもしかり、交流してみんなで力合わせて、やらまいかと、そういう風な話をしてるところです。以上です。

教育長

ありがとうございました。各地域でいくと、心配なことの1つに、今までその地域の文化等について学んできたことが、もう、どうなっちゃうんだ？っていうご質問たくさん受けるわけですけども、私たちとしては、地域のことを学ぶ時間を工夫してですね、作るわけですけども、例えば、山岡が山岡だけではなくて、串原へ行く、上矢作に行くっていうようなことで範囲を広げてですね。どの地域のことも知る、興味があれば、どこへも行く。その中で、地域の方との触れ合いも広がる中で、文化、歴史をもっともっとこう大切にしていきたいとかね、そういう気持ちも育つのではないかと。それから、先ほど言われたように、中学生って、本当いろいろなところで活躍しています。地域の活気も、これからもっともっと出てくるんじゃないかな、と。そういうことも、期待しての学校を作っていきたいと思っております、よろしく願いいたします。

参加者

皆さん夜遅くご苦勞様です。今年度からですね、地域自治区の方で、お世話になっておりますので、田代の若森と言います。先ほど、ちょっと意見があった

ことに対してなんですけど、私がこの山岡のことに、はっきり関わるように、  
という意識があったのは、実は数年前にいろんなことで役が回ってきて、こ  
ういうことになって、実はこの学校再編委員会の検討委員会にも招集があり  
まして、出席をしていました。その中でですね、学校って何のためにあるの。  
何のためにあるのでしょうか、学校。理想論で言ったらおかしいですけど、人  
間が人間たる所以を求めるのが目的ですよ。人間って、犬や畜生とは違いま  
すよね。考える力を持っていますよね。それ、1番の主人公である子供たちの可  
能性ですね。子供たちが将来、例えばこういうことをしたいっていうことにな  
った時に、そうしたものをエネルギーとして、享受できるというのかな。そう  
したものが、教育じゃないでしょうか。私は先ほど言いましたように、招集さ  
れた時に、いろんな意見を聞いた中で、子供たちのことを第1に考えるんで  
あれば、やはりこのままではダメだ。将来的な展望が10年ぐらいありますよ  
ね。そうすると、今のものを1校にしたら、これは、先のことはちょっとわか  
りませんが。それまではやっていけると。例えばお隣瑞浪市も、再編ありまし  
たね。近いところで。こことは状況が違うわけですよ。この中でやはり再編  
を今進めていく中でですね、この後は、やっぱり前向きにしてくれないと。ちょ  
っと話変わりますけど、この中で、中学校の時にバス通学された方お見えです  
か。若干名ですね、田代の人だけだと思います。はい、私は実はですねえ、バ  
スに酔います。今でも自分の車でもちょっとあまりよくないです。ですけど、  
その時に、同級生が励ましてくれました。で、バス酔いもなんとかありました。  
ですから、1時間かかる子たちもおるようですね。でも、これ周りのみんなで  
やっていけば、その1時間という時間を補ってあまりあるものがあると思っ  
ます。そんなことで私は、できたら早急に、ということをおもっていますが、  
事務局というか、教育委員会の方にお聞きしたいのは、そうしたことで、今か  
らやっていく事について、8年度ですかね、これというのが間違いがないとい  
うことでよろしいでしょうか。以上で終わります。

教育長 ありがとうございます。まず、環境等検討委員会はとにかく早くということ  
で、最初に7年度という案がお示しされました。ですが、いろいろなこと考  
えると、ある程度の手続きの期間も必要だということで、最短で令和8年度と  
いうことでやらせていただきました。皆さんご存知のように、ここ数年でコロ  
ナがあつたりとか、私たちが思いもよらないような状況が起きるわけですけ  
れども、それでも今の状況でいけば、8年度で開校する。ということで、向か  
っております。よろしくお祈りします。

参加者 すいません、ちょっと遅れてきて、前半聞いてないんですけどね、統合にはい  
くらかかるんですか？

教育長 それは、どのお金だったんでしょう。全部ですか？

参加者 全部。

教育長 全部はまだ試算はしておりません。

参加者 私が思ったのは、今令和8年度で合併して、4学級にできる。でプラスができるとおっしゃってますけど、増築して、お金を莫大なお金を掛けて増築して、バスも買って、また数年後にはもう、増築いらぬわけですよ。人数が減るから。どうでしょうか。それ意味無くないですか。

教育長 はい、ありがとうございます。お金がかかなくなってから、統合等を進めるのか。今の子供たちに少しでもお金をかけて、より良い環境にするのかと言われまして、お金をかけてでも、今の子供たちにより良い環境を整えてあげたい。というのが、教育委員会の考えでございます。

参加者 どうもすいません。発言の機会をいただきまして、ありがとうございます。今いろんなご意見を聞く中で、色々と、論点があるかなと思っております。まず、通学の時間が長くなるようなところと、一方で、多様性を育むというような形、この2点が大きな論点かなということを考えています。その中で1つ思うのはやはり、今後の子供たちの教育あるいは成長を、どう考えているかということではないかなと思ってまして。で、通学については、時間がかかる。先ほど、明智の方がその辺については、考慮いただきたいというような話もいただきましたが、やはりそれにも増して、子供たちが、多様性をはぐくむためには、やはり多くの友達と接する、あるいは、先生と接するというような形が必要ではないかなということを考えています。それで、しっかりと統合を進めていただきたいなと思ってるわけなんです。その中で恵那市とすると、以前に統合したという経験値があると思います。その経験値の中で、やはり改善すべき点、あるいは、これは良かったなというところを、ぜひ、今後の統合に向けて、周知していただきたいと。例えば、今回私ちょっとチラシを持ってるんですが、反対の方の意見っていうのは、やはりバスでの通学が非常に大変だということが出ております。これについての、教育委員会、あるいは統合に向けての考え方というのを、しっかりと地域の方に周知するというのが、やっぱり大切ではないかなと思ってます。よろしくお願ひします。以上です。

教育長 ありがとうございます。恵那市では、例えば恵那西中学校の統合です。その時は大きな問題も起きたりもしてました。けれども、今現在、子供たちがその統合の影響で、何か不利益なことがあるかっていうと、そんな風には感じておりません。もちろん、遠い子で、今恵那西中学校で言いますと、4割以上が自転車通学で、本当に時間をかけて通っていくっていう子もいます。バスならば、何か自分の時間を上手に使うことができるかもしれません。それから、恵那北中学校も統合しました。恵那北中学校も今本当に人数は少なくなってきたん

ですけれども、統合してからの人数が少なくなったのと、そうでないのでは、やっぱり同じ人数を比べることはちょっと違うかな、と思っています。この前、卒業式へも行ってきました。私も久しぶりに、中学生の子たちが、涙をして、先生たちのおかげでって言っている卒業式、久しぶりに見ました。地域の中で子供たちは一生懸命やってきたんだと、学校にも愛着があるんだってことを考えると、良い事ばかりではないかもしれませんが、統合する中で、子供たちがより豊かな生活が送れるように、私たちはそんな環境を整えていきたいと思っていますので、ご理解いただくとありがたいです。

参加者

ちょっとお聞きしたい部分もありまして、お願いしたいこともありまして、お話をさせていただきます。うち 5 年前に、家族全員でこの山岡に引っ越してきました。子どもも小学校に通っております。山岡は自治区とか色々あるんですね。恵南地区はよくわからないんですけど、この岩村、明智、串原、山岡、みんな自治区があるのか無いのか、ちょっと僕にはわからないんですけど、こういうところがまるっと急に 1 つに令和 8 年にしてしまうっていうのは、少し乱暴なのかなと。結局、揉め事を増やしてるだけで。じゃあ、どこにしわ寄せがくるっていったら子供にしわ寄せがきます。そういう風にならないために、このバスの件も、いっそ、山岡中学校は辞めちゃって、新しくみんな万遍なく、1 番遠い子が時間が同じところに、同じだけかかるような所に中学校を新しく作るだとか。今 1 番大事なのが子供なら、子供にお金をかけるのであれば、もっときちんとした事をしないと、揉め事を作るだけになってしまうんじゃないか。僕は名古屋からこっちの方へ、色々挫折して、こっちに来て住んではおりますが、たまに、多少なりともアウェイ感を感じておるわけです。だから、こんな、保護者の足並みがそろわない事で、無理くり統合したことで、結局、子供にしわ寄せが来るのであれば、この中学校も違うところに 1 校にするとか。あと、こういう会も、やっぱり子供ももらってきたプリントですけど、令和 5 年 3 月 13 日月曜日 7 時から山岡地区対象にやりますではなく、やはり恵南地区全体で、保護者の足並みがバラバラなんで、皆さん、他のとこの地区の親さんの意見をちゃんと聞いて、やっぱその辺のところの親交を深めないと、こんな説明はしたところで、場所によって温度差がありすぎるような、こんなことで果たして 1 校になるのか。っていうことを少し、色々会議出させてもらって、少し不信感を持っているっていうのが事実で、できれば、こういうのもせつかく自分も出るのであれば、いろんなところの人が来れるように、どこどこで何時からやるだとか、できれば広いところで、もっと広いところで、いろんな人の意見を皆が聞けるような場所を設けていただくと、いいなと思いますが、すいません、ちょっとわかりにくい話で申し訳ないですが、以上でお願いいたします。



教育長 ありがとうございます。まず、場所の件につきましては、1番遠いのが串原や上矢作ですので、そこからある程度同じような時間帯で来れるところっていうのがこの山岡っていうことになっております。

参加者 そういうことじゃなくって、山岡の端から、山岡の端でも、串原の先端でも、どこの端でもその真ん中にあれば、みんな公平じゃないですか。今は不公平じゃないですか、山岡だけはどうで、山岡の人はだからね、熱量が違うんですよ。山岡はどっちでもええは変わらないから。でも、他の中学校とかはやっぱり変わってくるもんですから、一層のこと、山岡中学校やめてしまって、みんなの中心に作ればいいんじゃないですか。

教育長 はい、ありがとうございます。今までに、あり方検討委員会から始まって、様々な検討委員会の中で、それぞれ課題を持ってですね、検討していただいた結果と私たちは捉えております。それから、この前 PTA の新旧の会長さんたちが集まっていた時に、同じ意見が出ました。山岡だけ、岩邑だけではなくて、そういう保護者の人たちも集まって話ができるような、そういう会も作れないか、ということもいただいておりますので、そういうことは、これから工夫していくことは大切かなと思っております。

参加者 私は、皆さん最初はそうだと思うんですが、中学校無くしてほしくないな、残ってほしいなっていう気持ちはみんな変わらないと思うんです。ただ、出生数が近い将来減っていくっていうことがもう現実にあるので、これももうどうしようもないなと。私は今ももう統合やむなし。という意見に変わっています。統合せざるを得ないなと。そこで1校統合がいいのか、それ以外の何か案があれば、それ以外の統合なんか比べる材料が欲しいなと思っておったら、2校統合はどうだっていう案が出てきたんですね。で、今1校統合がいいのか、2校統合がいいのかって私は悩んでいます。色々資料集めてね、考えさせてもらいました。そこで思ったことは、1校統合というのは、ちょっと無理があるんじゃないかなっていう気持ちになってるんです。それは先ほどから出てきている、通学時間の問題、増改築の予算の問題。いろんなことが、出てきてるんですね。私はね、その中でね、1番気になってるのがバス通学の生徒さんが、今度の新しい中学校ではですね、80パーセントになるんです。20パーセントは歩いてくる、自転車である。これ、山岡の中学の皆さんですよ、ほとんどが。他の4カ町村は全てバスです。だから、生徒さんもですね、8割がバス通学になってるんですね。で、そのために問題が起きてるんです。やっぱりそこをよく考えてほしいんです。私、他の中学校のことをさっき恵那北中学校のことをえらい褒めてみえましたが、岡田教育長さんは。それはそれで、あそこは僕がおかしいなと思ってるのは、あそこはですね、1学年1クラスの学校です。クラス替えがない学校なんです。で、そういう学校いいとおっしゃるんですね。

ああいうところは小さい学校だけど、先生との繋がりもよくて、地域の繋がりもよくて、あんな良い学校、久しぶりに卒業式行ってきたけど、よかったよと。1学年1クラスの卒業式を見に行かれて良かったとおっしゃったんです。小さい学校の良さはもう認めて見えるんです。岡田教育長さんは。なのに、1校統合を早めようとされる。なんでかな。で、他の中学校のことで、ちょっと調べてみました。恵那東中学校はスクールバスが無いそうです。恵那西中学、先ほどなんか出ましたね、恵那西中学はどうのこうのと出ましたが、三郷と武並の方から2コースで、スクールバスで2台動いてるそうです。で、それ以外は徒歩または自転車なんですね。そうすると、徒歩自転車は30パーセント。ごめんなさい、反対です、間違えました、スクールバスで三郷、武並から通う生徒は30パーセントで、長島の辺ですかね。あの辺から集まる生徒は、70パーセント。まるっと、今度の新中学のパーセントが逆転してるんです。で、普通はですね、西中学の方が普通だと思います。スクールバスの生徒さんが少なくて、歩いてきたり、自転車に乗ってくる子が多い、これは普通の中学校なんです。だから、今度の中学校はそうじゃないんです、そこをよく考えていただきたい。で、この登下校のところを見ますと、Q&Aの1番最初に登下校についてが書いてあります。これ、皆さん読まれました？8時20分に朝、登校できるようにバスを動かします。っていうね。そうすると、1時間かかる子は、7時20分にバスに乗らないかん。じゃあ、バスに乗るためにどうするか、バス停を増やします、とおっしゃいましたけど、バス停を増やせば増やすほど、時間がかかる。各駅停車ですから。でバスに乗るためにはですね、自宅から歩いてって、バスを待たないかんわけでしょ。もっと時間があるんです。さらにまた時間がかかる。そういうことを私、子供や孫にやらせたくないんです。これここにはですね、帰りの時間が冬は5時頃、夏は6時頃を想定しています。と、そうになると、もう朝部活はできないですね。それから、帰りの部活は冬はもうできません。4時頃出ないといかんからバスを。大体中学校の授業は、6時間目終わって、ホームルーム帰りの会やって終わると3時40分ぐらいかかる。そうすると、トイレ行ったりしてバスに乗らなきゃいかんでしょ。冬はもう部活ができない。じゃあ、夏はできますよ。っていうわけで、夏はどんだけできるんですか。1時間でできるんですか。私、難しいと思ってる、それも。部活終わってね、着替えをして、トイレに行って、バスに乗らないかんでしょ。そうしたらバスに乗る15分ぐらい前に部活をやめにゃいかんですよ。一斉に。ここで、その1時間ある部活が、3時40分か4時40分としますよ。部活は1時間とします。しかし、その部活の準備と後片づけがいるんです。そうしたらね、どうです。実質45分ぐらいしかできない。夏場でもね。で、先ほど向こうの方で選択肢が増えていいじゃないか。とおっしゃったんです。先生も増える、専門

教科の専任の、専門の人も増える、これも結構です。この方がいいんです。私も先生が増えれば、担当の部活の先生も増えますから、部活の数も増えるんです。これもう絶対増えます。僕も選択肢が増えていいなと思います。いや、思うけど、またそこで疑問が出てきちゃった。休日はどうするんですか。土日は、スクールバスが動きません。で、このQ&Aのですね、部活動のところを見てもらうといいんですが、質問2の④。ここに部活動のことが出てます。休日は地域のクラブ活動に移行する方向になります。こう書いてある。その地域に移行するってどういうことですか。また、それぞれの5ヶ町村にバラバラになって、土日のクラブ活動するのかな。そうすると、やれるクラブ活動がまた、今の通りになる、言っていることわかります？私のことわかります？恵那南中学校で10の部活ができるのに…

事務局 すみません。持論を述べる場では無く、ご質問という形で整理をされてからご質問されることをお願いいたします。

参加者 ごめんなさいね。とにかく週末のクラブ活動のことがちょっと疑問に残ってるんですが、あの1つ質問して終わります。ごめんなさいね。バス通学が80パーセントになるような中学校というのは、東濃地方あるいは岐阜県内あるんでしょうか。

教育長 はい、それはですね、あるからやるとか、無いからやらないとか、そういう考え方ではなくて、まずは先ほど申しましたように、子供たちにより良い環境で、先ほどあの北中のことを褒めてって言われましたが、私、決して、串原がダメだとか、そういうこと言ってるわけではなくて、より良い環境をやっぱり作っていきたいということを述べております。それぞれ良さがありますし、今どの学校も、職員も生徒たちも一生懸命やっております。それはわかっております。それでも、さらに良い環境をっていうことが1つです。それから、あと部活動のことについて言いますと、現状、今冬間に部活動やってる中学校はもうほとんどありません。普段の日ではできないっていう、それが現状でございます。

参加者 夏はどうですか。

教育長 夏はやってはおりますけど、毎日やっているわけではありません。夏も、そこは工夫でございまして、大きな大会の前は少し日程を変えてですね。例えば、授業5分ずつ短縮するとか、そういうことで、時間を生み出してやっているという現状でございます。それから、土日の部活動につきましては、国全体で地域へ移行する。ということで動きができておりますので。

参加者 その地域というのは、山岡の地域のことですか。

教育長 いえいえ、それぞれのいろいろな地域があります。それで、実際に先ほど言われましたように、スクールバスが出ないけどっていうことですが、実際にクラブなんかで言いますと、保護者の方等が協力し合って送迎したりするって

ということもありますので、よろしくお願いします。

参加者

はい、すいません。私も山岡町で、小学校に通う孫を持った者なんですけども、私が、小学校の時に、鶴岡小学校と遠山小学校が統合されて山岡小学校になりました。で、私たちの意識は、旧鶴岡が遠山だっていうことでなく、山岡っていう、こういうあの認識があります。今、恵那市が合併して20年ぐらいなので、そろそろ本当先ほどの方もおっしゃってましたけども、そういう感覚を持つっていうことは、大事だと思います。そのために、市内の各中学校と比較して、1番最初の方もおっしゃった、同じような教育を受けさせたいんですね。今いろんな動きがあったし、これ、どこに作っても遠い近いができるんですね。だから、それは今の検討委員会等、議論を重ねて出された結果を受け止めて、我々は応援してやりたい。子供たちがやっぱり、同じような教育を受けられる環境を作ってやること、というのを本当に希望をしています。そこで質問なんですけども、私は恵那南という中学校の名前には出来るだけして欲しくはなくてですね。恵南っていう名前もちよっとどうかと思う。それぞれの人は想像するようなイメージの名前を早く決めてもらって、統合のメリットとか、そういったものを皆さんにわかりやすく、説明するような運動とか、そういったことをできないのか、その計画の順番は今聞きしましたけども、書類にとられることなくですね。市民の理解を得られるような、ぜひ検討ができないようなものかをお伺いしたいと思います。

教育長

ありがとうございました。統合については、本当にいろいろなことを相談したり、検討したりしていかなければなりません。その中で確かに今言われたように名前というのは、新しい統合する中学校のコンセプトというか、その姿を示すものになる、そういう名前の付け方もあると思います。決して順番がこうではなくて、急いで取り組まなければならないものは、急いで取り組みますし。名前も、校章を作ったりとか、校歌を作っていくとしたら、名前って大事ですよ。その名前を表すような校章なり、校歌なりにしていくってことを考えると、優先順位としては、やっぱり名前は早い時期に十分検討していただいて、作ることは大切かなと思っておりますので、貴重なご意見いただいたということで、受け止めていきますので、よろしくお願いいたします。

参加者

はい、すみません。1つ質問ですけど話の中で、子供が1番。子供のために。って言ってますけど、実際、その令和8年に中学生になる子供たちの意見ってというのはどうなってますか。実際、そういうアンケートを取ったりはしてるんですか。

教育長

はい、ありがとうございます。現時点では、子供たちにアンケート等は取っておりません。これから、小学校も中学校もですけども、統合に向けて色々な動きを作っていくたいと思っております。その中で、統合等について考えなが

ら、子供たちに意見等を聞くことはあると思っております。

参加者

だから、その当事者である子供たちにまず意見を聞くのも、大事じゃないかなと思います。今バスに乗るのが長いとかそういう話もありますけど、実際、子供たちがバスに乗るのがやだって言ってるか、どうかすらわかんない状態で議論をするのかどうかと僕は思うんですけど、どうですか。

教育長

ありがとうございます。アンケートは、取る内容とタイミングが大切だと思っております。子供たちには、これで統合のことについて、十分いろいろなことがわかっているわけではないと思います。その中で、例えば賛成反対とかそういうことを聞いた時に、子供たちにそうやって責任を持っていくのは、どうかかなと。もう少し、いろんな情報を得たり、一緒に考えたりする中で、私たちとしては、できれば、統合した学校に、夢や期待を持って来てくれるような、そういう子供たちを育てたいなと思っております。この3年間で、考えさせたり、意見を聞いたりする、そういう機会は作っていきたいと思っております。

参加者

すみません、安藤と言います。上矢作なんですけど、上矢作の説明がでれるかどうかわかんなくて、ここでちょっと発言させていただきたいんですけど、今、子供のアンケートのことが出たと思うんですけど、僕、1月18日に説明会でも同じ質問をしております。ただ、学校の先生とそういう授業を作るだけでも、できると思うんですよ。子供の意見を聞いたり一緒にメリットデメリットを考えよう。そういった努力をしてほしいというのはあります。ただ、今この恵那市がやっているやり方というのは、結論ありきの進め方なので、地域ごとの温度差も出てきてしまいますし、進め方がおかしいっていつている保護者はかなり多くいると思います。そこで質問なんですけど、あと明日明後日明々後日と各地域で説明会があります。その後はどのように考えて、どのように準備委員会を時期をいつって書いてあるんですけど、皆さんが市民のみんなが合意形成するという、みんながいいよってなるのか、みんなが嫌だって言っているのか、そこをどう判断していくのかをはっきり答えてもらっていいですか。

教育長

はい、ありがとうございます。まずは進め方ということですけども、私ども最初平成20年に、小規模教育検討委員会というのが立ち上がったわけですけど、そこから26年のあり方検討委員会、27年の恵那南地区中学校再編委員会、そして恵那教育環境等検討委員会等ですね。十分いろいろな代表の方も来ていただいて話をさせていただいた、その結果を受け止めて、進めていると考えております。それから、学校で、先生も含めて、いろんなことを話し合うっていうか、意見交換するっていう。それは、本当に大事だと思っておりますので、新年度が始まってから計画的にやっていきたいと思っております。そして、提言をいただいて、教育委員会でも十分意見を交わした後に、この提言を受け止め

てやっていこうということで、結論を出しました。その後、今議会の最中なんですけれども、議会の初日に、市長さんが統合をやっていこうということをおっしゃられました。そして、4月からの予算で、400万ほど計上しております。それについても、今度の議会で審議をしていただくわけです。それが通った段階では議会としても、統合のことについて、進めていこうというご決断をされたという風に考えておりますので。もうあとは、準備委員会を早く立ち上げて、統合に向かって進めていきたいと考えております。

参加者

ギリギリの時間で申し訳ありません。ここへ来た以上は、何か一言、自分の思いを伝えたいなと思っています。デメリット、メリット、色々あるなっていうのは、今日お話を伺って感じました。それぞれ、いろんな思いがあるなっていうんですけど、やっぱり子供が中心だと私は思います。今のままでいくと、先生たちも揃わない。それって、1番子供にとっては不幸なことじゃないかな、という風に考えます。やはり、専門教科の先生がいて、その人が常時学校にいて、それが普通の学校じゃないかなと。でも、今のままでいくと、教科によっては、1週間に1日来るとかっていうような方も見えます。そんな中で、子供たちって、本当に自分の力をつけていくことができるのかな、っていうことを思います。本当に小さな学校は小さな学校で良さがあります。私、山岡中学校の卒業式に出て感動しました。いいなと思いました。でも、やはりこれから先の10年後、20年後、その先を見据えた中で、何を今1番考えていかなくちやいけないのかな、ということを変えて今日感じました。やはり、子供たちのために、何をすべきかなということを大人が考えていくのが大事じゃないかな、という風に思います。私は、山岡の住民として、山岡に学校ができれば、その学校を盛り立てていけるように、やはり地域で協力していきたいなと思います。山岡町というだけじゃなくて、恵南や恵那市の子供たちをみんなで育ててくという気持ちで、いきたいなという風に思いました。すいません、質問でもなんともないですけど、自分の思いを伝えさせていただきました。

教育長

ありがとうございました。なかなか説明が足りないところがありまして、十分に伝わってないかもしれませんが、今の教員が大きな環境の1つだっていうお話の中で言いますと、令和8年度開校した時には、学級数は今の状況でいくと11学級で教員は17名。それから、特別支援学級っていうのが3学級できると、これで3名足して20名。そこに、統合するっていうことになった時には、特別に先生を1人配置していただきます。これはもう決まっております。そうすると、21名、それから主幹教諭っていう教諭がいまして、地域と学校等を繋いだりする役割をするんですけども、そういう職員も配置することができます。そうすると、22名、そして、その時の状況によるんですけども、少し授業を工夫するために、先生を余分に欲しいということ

申請して、もらうことも可能性としてはあります。教員の人事としましては、私たち教育委員会がやりますので、そこはきちっとやっていきたいなということをおもっております。職員数も増えていきます。だんだん減ってはいますけれど、そんな中で、1人で全ての例えば、英語なら英語の評価を1人でやるよりも、2人例えば3人でやると、相談をしながらできるということで、先生方も力をつけていくこともできるということで、それが結局は子供たちにプラスになっていくというようなこともあります。そのことも含めて、精一杯やっていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

事務局 はい。大変ありがとうございました。予定を過ぎております。たくさんの方からご発言を賜りました。今日のこの会の皆様の意見を基にしながら、また前に進めていきたいと思ひます。では、最後にこちらからのご挨拶を申し上げまして、この会を閉じさせていただきますと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

室長 本日は長時間この説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。先ほども申し上げましたように、令和8年度の開校に向けて、教育委員会、地域の皆様と保護者の皆様の力を借りながら、全力で取り組んでいきたいと思ひますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。お礼を申し上げまして、この会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

閉 会 (午後8時35分)